

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和8年6月11日（木）

2 確認箇所

- ・定検資材倉庫A棟（図1）
- ・K4タンクエリア（測定・確認用タンク群）（図1）

3 確認項目

- （1）D1タンクの解体及び保管状況
- （2）ALPS処理水放出停止に係るK4タンクエリア内の状況

4 確認結果の概要

（1）D1タンクの解体及び保管状況

東京電力では、Eタンクエリアにおいてフランジ型タンクの解体作業を進めており、令和6年7月までに全49基中48基の解体が完了している。残る1基のD1タンクについても、タンク内のスラッジ等の回収及びタンク内壁の除染が終了し、令和8年5月21日から解体作業に着手している。

今回、定検機材倉庫A棟（以下「倉庫A棟」と言う。）に搬入されているD1タンク解体片の保管状況を確認した。（前回確認日：令和8年3月25日）

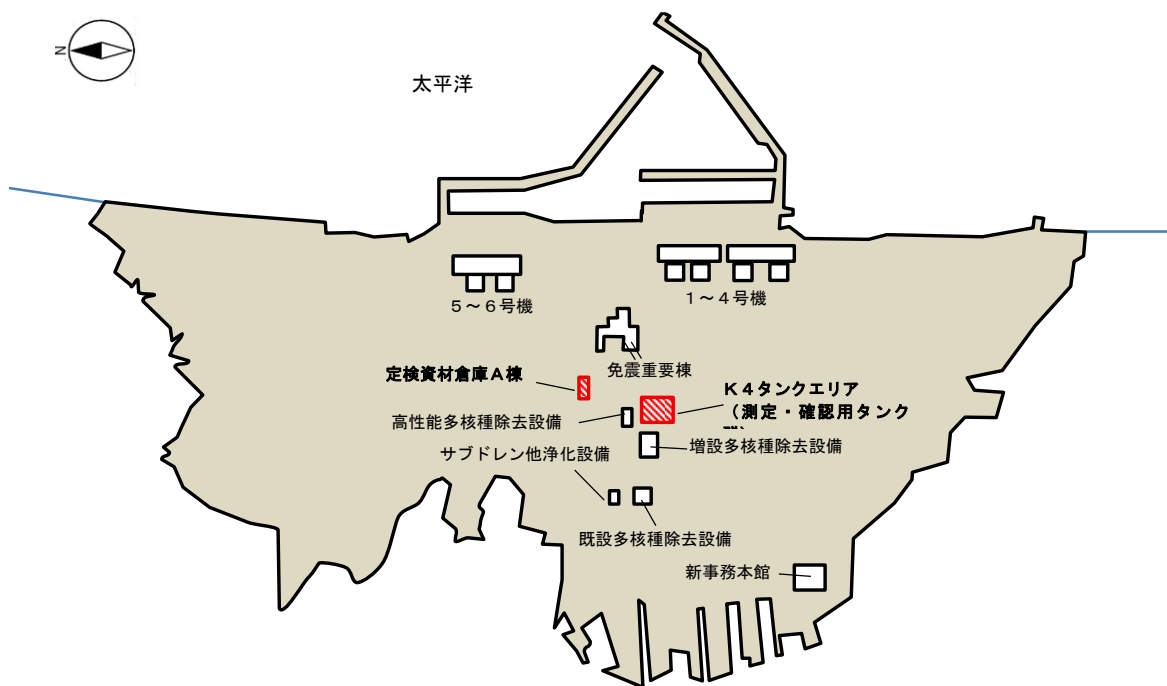
- ・現場確認時、D1タンクの解体片や解体に使用した資機材等が整然と保管されており、特段の異常は認められなかった。（写真1）
- ・倉庫A棟内にはダストモニタが設置されており、現地確認時において異常な測定値は確認されなかった。（写真2）

（2）ALPS処理水放出停止に係るK4タンクエリア内の状況

（6月1日から今年度第2回目の放出を開始した）ALPS処理水の海洋放出において、令和8年6月10日、ALPS処理水測定・確認用タンクB群に貯水していた処理水の移送工程異常（サンプルタンクB群移送工程異常）の警報が発報し、同日16時17分に自動停止した。

このため、東京電力では、警報発生の要因と想定される処理水サンプルタンク払出一次弁の交換作業を行ったことから、今回、その状況を現地で確認した。

- ・現場確認時、東京電力担当者1名立ち会いのもと、協力企業6名程度が当該払出し弁（電動弁：前弁）の交換作業を実施しており、現場では資源エネルギー庁職員1名が確認を行っていた。（写真3）
- ・なお、東京電力では、作業実施後、準備が整ったことから、6月11日16時10分に放出を再開し、放出再開後の状況について、漏えい等の異常がないことを確認している。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



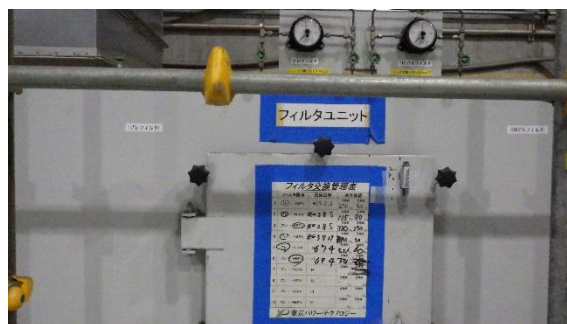
(写真1-1) D1タンク解体片の保管状況①(裁断機・バンドソーによる裁断前の保管状況)



(写真1-2) D1タンク解体片の保管状況②(裁断機・バンドソーによる裁断後の小片の収納)



(写真2-1) ダクト部分に設置されたダストモニタ



(写真2-2) フィルタユニットの設置状況及び点検確認状況



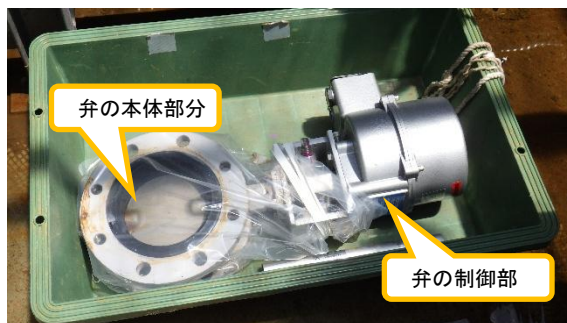
(写真3-1) ALPS処理水測定・確認用タンクB群の払出し弁の交換作業状況① (不具合弁の確認作業)



(写真3-2) ALPS処理水測定・確認用タンクB群の払出し弁の交換作業状況② (不具合弁を取出し)



(写真3-3) ALPS処理水測定・確認用タンクB群の払出し弁の交換作業状況③ (類似弁の設置例)



(写真3-4) ALPS処理水測定・確認用タンクB群の払出し弁の交換作業状況④ (交換作業により取り外された弁及び制御部)

5 プラント関連パラメータ確認

各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。